

## 行政、保護者、関係機関、関係団体、地域のボランティア等が一体となって進める子育て支援

～みらい子育てネットさがみはら連絡協議会の活動  
(旧母親クラブ)～

相模原市〈健康福祉局 こども育成部こども青少年課〉

### ●地域の状況

【人口】 約 71 万7千人(うち就学前児童 約3万6千人、小学生 約3万7千人)

【世帯数】 約 30 万4千世帯

【概況】 相模原市は交通アクセスの良さを背景に都市機能の一大集積地として発展してきた。その一方で、鮎踊る相模川をはじめ、陣馬山、相模湖など首都圏を代表する豊かな自然を有し、多様な魅力と 71 万市民の活気あふれる首都圏南西部の広域的な交流拠点都市である。

相模原市は、高度経済成長期の東京都市圏の拡大や第二次ベビーブームを背景に、爆発的に人口を急増させた郊外都市である。戦後に市制施行した市が政令指定都市へ移行したのは全国で唯一であり、相模原市は全国的に見ても最も急発展した都市の一つであると言える。しかし近年は、出生数6千人強で、ほぼ横ばいに推移しており、人口は微増に止まり、急発展の時代から安定維持の時代へ移り変わっている。

### ●具体的な母親クラブ等の地域組織活動の内容

#### ○活動の経過

##### 沿革

昭和 35 年度 母親クラブ育成事業として開始

昭和 39 年度 市母親クラブ連絡協議会を組織

平成 21 年度 市母親クラブ連絡協議会をみらい子育てネットさがみはら連絡協

議会に改組。

内 容(平成 23 年3月現在)

地域の子どもの幸せと親自身の向上を目指して継続的に活動する自主的な団体に対する支援及び育成。

クラブ数:9クラブ(最多は昭和 42 年 124 クラブ)

会 員 数:95 人

運 営 等:会員の互選により会長等の役員を決め、子育て支援者フォーラム・交流会、自主保育、学習会、講習会、ボランティア活動、地域行事への協力などの様々な活動を行い、親睦を深めながら自主的に運営されている。

○ 単位団体の特色を生かした活動

- ・かみしばいのつどい
- ・マタニティフレンズの会
- ・さつまいも堀り
- ・学び「親子料理教室・ヨーグルトキッシュほか」
- ・親子で体験「歌って整えよう 心と体」～呼吸法を通じて～
- ・親子料理教室「親子でおひなさま寿司とバラの花寿司づくり」
- ・地域への協力(児童館、こどもセンター、公民館など)
- ・独自事業の展開(ムーブメントなど)

○ 単位団体と市が連携した子育て支援(こども施設課)

- \* 乳幼児のいる保護者を対象に、こどもセンターなどで「子育て広場」を開設している。こどもセンターでの「子育て広場」の開設にあたっては、平成 17 年にモデル事業として2か所を開設しているが、その運営を母親クラブが支えてきた経過がある。

現在は、実行委員会方式で実施しており、こどもセンター24か所中、14か所で開催するなど拡充を図っており、「みらい子育てネットさがみはら」のメンバーが数多く参加して、開設・実施の中心的存在となっている。



子育て広場での「ハンドベルコンサート」

○ 単位団体と市が連携した子育て支援(保育課)

- \* 家庭で子育てをしている保護者の方が地域で親子のグループを作り、交流を深めながら、育児の知識や技術を高める「コミュニティ保育」を公民館等において実施している。

この事業では、保護者が企画・運営をし、保育所が指導にあたっている。「みらい子育てネットさがみはら」のメンバーのコミュニティ保育への関わりは、相談を受けたり、講師に出向いたりするケースや、事業への協力を要請したりと交流を心がけている。

○ みらい子育てネットさがみはら連絡協議会の活動

- ・市地域子育て支援事業の受託(平成 21 年度～)
- ・遊び場安全点検の実施

主に夏休み前の時期に、44 か所の街区公園、児童遊園等において安全点検を実施し、報告書を作成(点検は年間を通して実施)

- ・会報の発行 など。

## ●母親クラブ等の地域組織活動と関係機関等との連携

### ○ 相模原市地域子育て支援事業の受託(こども青少年課)

#### (1)相模原市子育て支援者ネットワークの拡充

- ・目的:相模原市が実施する子育て支援者ネットワーク(以下「ネットワーク」という。)を拡充することにより、地域の情報を収集するとともに、地域で活動する子育て支援者及び団体(以下「子育て支援者等」という。)の活動の活性化や課題解決を図り、子育て支援活動の質の向上を目指す。
- ・実施方法:子育て支援者等に対して、ネットワークについて周知し、ネットワークの拡充を図る(平成23年3月現在登録数37件)。また、ネットワーク登録者等を対象に、交流会を開催するとともに、ネットワーク登録者の活動等を紹介した冊子を発行する。交流会をきっかけに、単位団体同士の交流が生まれ、地域における子育て支援の内容の充実が図られている。

#### (2)子育てに関する各種講座の開催

- ・目的:子育てに対する不安感や負担感の軽減を図るとともに、子育て当事者の仲間づくりを促進するため、各種講座を開催する。
- ・実施方法:ネットワーク登録者等を活用するなどして、地域の実情に応じた講座を年4回以上開催する。なお講座の内容等については、市と「みらい子育てネットさがみはら連絡協議会」が協議の上、決定する。
- ・具体的講座内容:紙芝居・マタニティフレンズの会、お芋ほり、料理講座、三世代交流講座など。

#### (3)広報・情報発信ツールの活用

- ・ホームページを充実させ、情報の交換・提供の場とする。
- ・情報紙を発行する。

### ○ 児童館・こどもセンターとの連携

- \* 現在、市内に22か所の児童館と24か所のこどもセンターがある。

こどもセンター等で実施されている子育て広場については、現在、実行委員会に委託されているので、実行委員会の構成員として、連携を図っている。また児童館を会場にした子育てサロンへの協力、児童館主催事業への協力なども継続して行っている。

- 青少年関係団体連絡会の構成団体としての活動
  - ・市民まつり「ちびっ子広場」実行委員会 4月または5月(相模原市役所周辺で実施)
  - ・「親子ふれあいの広場」実行委員会 11月第2日曜日(淵野辺公園で実施)
  
- その他、市の関連会議への参加

### ●市町村として母親クラブ等の地域組織活動を活用することのメリット

- 子どもとその家庭への支援の充実を図るため、子育て中の親子が交流する場の提供、子育てに関する情報の提供や相談の実施など、地域における子育て支援を推進する中で、地域の人材や資源を活用していくことは有効であると考えます。
  
- 地域子育て支援事業を推進するために、みらい子育てネットさがみはら連絡協議会等の団体と連携することで、子育て支援に関わる人材、団体等のネットワークの構築や研修会の開催、子育ての当事者を対象にした講演会の開催等により、地域活動の活性化、子育てに対する不安感・負担感の軽減を図ることができる。

### ●母親クラブ等の地域組織活動を活用するに当たり、工夫している点、ポイント等

- 市内では、多くの団体や個人が、子どもたちの健やかな育ちを願い、子育てを応援している。こうした方たちが一つの点ではなく、線につながり、情報を交換したり、協力しあったりできたらという思いから、地域の実情のわかる「みらい子育てネットさがみはら連絡協議会」に「さがみはら子育て支援者ネットワーク」を拡充していただき、子育て支援者フォーラム・交流会を開催していただいている。登録団体や個人の活動を発表する場を増やし、その中でも情報交換が図られている。
  
- 行政との連携を図りながら、団体独自の自主性を育む中で、子育て家庭が気軽に参加できるイベント等が開催できている。



市とみらい子育てネットさがみはら連絡協議会が連携して開催している  
「子育て支援者フォーラム・交流会」

●母親クラブ等の地域組織活動に期待していること。

○一時的に子どもを預けられる場や、子ども連れで気軽に出かけ、子育ての楽しさを共有・実感できる場の提供など、身近な地域で進める子育て支援をこれまで以上に充実させていきたい。

○市では把握しきれない地域の実情に合わせた子育て支援を展開していきたい。

○時代にあった新たな子育て支援を模索しながら、地域の子育力、ひいては、地域力の向上につながるよう、更なる活動に期待している。